

CHANNEL

HPMA Spotlight Artist Showcase

「注目作家紹介プログラム チャンネル」とは？

兵庫県立美術館が 2010 年度より毎年度開催してきたシリーズ展です。担当学芸員が今こそ紹介したいと考える注目作家を取り上げ、同時代を生きる作家と来館者とがさまざまな「チャンネル」を通して出会う機会になることを目指しています。2022 年度の第 13 回展では吉村宗浩の個展を開催します。

注目作家紹介プログラム - チャンネル 13 -

吉村宗浩

画家とアトリエメチエの修行場

Spotlight Artist Showcase - Channel 13 -

Yoshimura Munehiro: A Painter and an Atelier, or Training Ground of Métier

2022年10月8日(土)ー11月6日(日)



展覧会概要

吉村宗浩(1961-)は神戸市にアトリエを構える画家です。吉村は一般大学を卒業した後、画家への夢を捨てきれず東京の武蔵野美術大学に改めて入学し、そこで油絵を学びました。その当時はニュー・ペインティングと呼ばれる奔放な描線が大画面を覆うようなスタイルの画風が日本を含む世界を席捲しており、吉村もそうした時代の様式に添うような作品を描いていました。しかし大学卒業後ほどなく故郷の神戸にもどってからは、そうした一過性の様式とは無縁の自身の絵画、美術を淡々と追及することを選びます。吉村自身も自分の絵が描けるようになったと思えるようになったのは、それから20年ほどが経った2010年代に入ってからでした。

美術の道を志してから30年をかけてたどりついた現在の吉村の絵画はオーソックスで古典的な肖像画や風景画です。「絵は内容ではない」「長い時間の中で残るのは美だ」と語る吉村の絵画には特に奇をてらったところはありませんが、どこか現実離れした光景が広がり、独特の魅力をはなち、この10年の間に静かに、そして着実に注目を集めてきました。本展は画家にとっては初の美術館での個展となります。流行や新しさとは無縁の絵画、しかもなお他に替えるもののない美の表現である吉村宗浩の作品をお楽しみください。

なお、会期中、ほとんどの時間を吉村は展覧会場である兵庫県立美術館アトリエ1での制作に費やす予定です。画家の創作の秘密を垣間見ることができるとも知れません。

本展の見どころ

- 美術館が画家のアトリエに変身。吉村はほとんどの時間、会場に滞在して絵画制作を行う予定です。つまり、画家に会える（かも知れない）展覧会なのです。
- 展覧会場の様子は日々更新されます。制作が進むにしたがい、会場の展示の様子も変化するはずですよ。
- 流行とは無縁、我が道を行く独特な絵画作品。不気味でどこかユーモラスな世界観は癖になるような不思議な魅力を放ちます。
- 画家が広く注目を集めるようになったのは50歳を過ぎた頃から。それから10年の間にその作品への注目は全国的にますます高まっています。

展覧会リーフレットについて

画家が滞在制作を行う本展では、会場の様子も一定ではありません。そのように日々変化する会場の様子を記録するべく、展覧会のリーフレットも随時更新が可能な特別な工夫を凝らす予定です。詳細は展覧会HPでお確かめください。

関連情報

展覧会開催にあわせ、一般書籍としては初めてとなる作品集が888ブックスより刊行予定です。こちらもお期待ください。

吉村宗浩画集「悲しみの星」

208ページ、19×19cm、3,500円＋税（いずれも予定）

開催情報

注目作家紹介プログラム -チャンネル13-

吉村宗浩 画家とアトリエメチエの修行場

会期 2022年10月8日（土）－11月6日（日）
開館時間 10時－18時
休館日 月曜日 ※ただし10月10日（月・祝）は開館し、翌11日（火）休館
会場 ギャラリー棟1階 アトリエ1
観覧料 無料
主催 兵庫県立美術館
協賛 公益財団法人伊藤文化財団
助成 公益財団法人中内力コンベンション振興財団

【交通案内】

- ・阪神岩屋駅（兵庫県立美術館前）から徒歩約8分
- ・JR神戸線灘駅南口から徒歩10分
- ・阪急王子公園駅西口から徒歩約20分
- ・JR三ノ宮駅南から神戸市バス（29、101系統）にて約15分
- ・地下駐車場（乗用車80台収容・有料）



※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、予定を変更することがあります。当館公式サイトで最新情報をご確認ください。

作家紹介



吉村宗浩 / Munehiro Yoshimura

1961年生まれ、兵庫県神戸市在住
神戸商科大学商経学部経済学科卒業
武蔵野美術大学造形学部油絵学科卒業



《問題神父》 2009-2017年 個人蔵



《白いマフラーの少女》 2009年 個人蔵

[展覧会歴]

- 2022年 個展「農夫と牡鹿」櫻木画廊(東京)
二人展「YOSHIMURA family」神戸元町歩歩琳堂画廊
アートフェア 大阪関西国際芸術祭
- 2021年 個展「家具屋の息子」櫻木画廊(東京)
個展「Straight, No chaser」FARO 神楽坂(東京)
個展「雑居時代」神戸元町歩歩琳堂画廊
二人展「Wise Monkey×3」BIOME Kobe(神戸)
グループ展「Group Show」FARO 神楽坂(東京)
アートフェア「WAVE TOKYO 2021」
アートフェア「REAL by ArtSticker」
- 2020年 絵画祭 神戸元町歩歩琳堂画廊
個展「UNREALISM」GALLAYR NAO(東京)
個展「パロマー氏と幻のオリンピック？」櫻木画廊(東京)
個展「希望のかなた」神戸元町歩歩琳堂画廊
アートフェア アーツ千代田 3331
- 2019年 絵画祭 神戸元町歩歩琳堂画廊
個展「肖像画とアトリエの模様替え」FARO 神楽坂(東京)
個展 神戸元町歩歩琳堂画廊
個展「抽象セット」櫻木画廊(東京)
- 2018年 個展「ようこそ人間たち2」STUDIO Y3(神戸)
個展「ようこそ人間たち」888 ブックス PEARL BOOKSHOP & GALLERY(東京)
- 2017年 個展 櫻木画廊(東京)
個展「ブレイブニューワールド」神戸アートビレッジセンター
個展「Love Anyway」F mギャラリー(東京)
- 2016年 個展「問題神父」888 ブックス PEARL BOOKSHOP & GALLERY(東京)
個展 櫻木画廊(東京)
- 2015年 個展「ある夢想家の冒険旅行」神戸アートビレッジセンター
- 2014年 個展「町はずれの幻術」神戸アートビレッジセンター
個展 櫻木画廊(東京)
- 2013年 個展「北方の旅行者」6次元(東京)
- 2012年 個展「悲しみの星」神戸アートビレッジセンター
- 2011年 三人展「ねじれの異界の覗き穴」新宿眼科画廊(東京)
- 2010年 ART & PHOT BOOK EXHIBITION 新宿眼科画廊(東京)
- 1993年 二人展 埼玉県立近代美術館
- 1991年 個展 日比谷画廊(東京)
- 1990年 アートフェスティバル MITO 水戸芸術館(茨木)
- 1987年 二人展 ヴォイスギャラリー(京都)

[受賞歴]

- 2016年 イラストレーション第33回ザ・チョイス年度賞優秀賞（玄光社）
／イラストレーション第197回ザ・チョイス入選（玄光社）
- 2015年 イラストレーション第196回ザ・チョイス入選（玄光社）
- 2013年 BIG MAC AWARD ART CONTEST ファイナリスト受賞（日本マクドナルド）
- 2012年 イラストレーション第29回ザ・チョイス年度賞優秀賞（玄光社）
- 2011年 イラストレーション第179回ザ・チョイス入選（玄光社）
- 1995年 '95公募:日本海美術展入選（富山県立近代美術館）
- 1994年 パルコ・アーバーナード入選（渋谷パルコ）
- 1992年 第6回 FROM A THE ART 公募作品展佳作（原宿スピリホール）
- 1990年 TAMON 賞優秀賞（柏市文化フォーラム）
- 1989年 '89公募:日本海美術展入選（富山県立近代美術館）



《真夜中のマラソンマン》
2017年 個人蔵



《コッド岬の観光客》
2017-2022年

[作品提供]

- 2021年 浜口倫太郎『ワラグル』小学館 装画
- 2016年 ブライアン・エヴンソン 柴田元幸/訳『ウインドアイ』新潮クレスト・ブックス 装画
- 2014年 劇団ペンギンプルペイルパイルズ#18『靴』宣伝広告
- 2012年 演劇『音のない世界で』宣伝広告（新国立劇場）



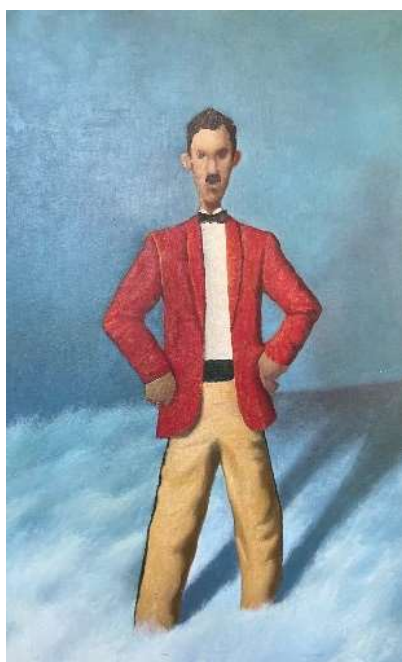
《北方の旅行者》
2018年



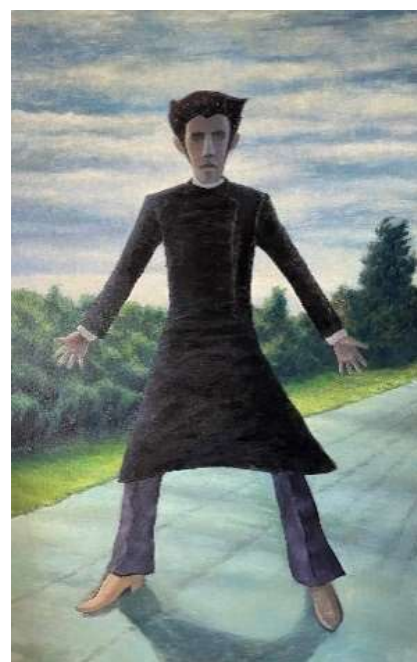
《紅葉》2009年



《振り返る問題神父》 2022年



《雲の上のパロマー氏(私はいつも前を向いている)》
2022年



《問題神父の待ち伏せ》 2022年











広報画像申込書

e-mail : press@artm.pref.hyogo.jp / FAX : 078-262-0903

兵庫県立美術館 企画・広報担当 宛

ご希望画像にチェックを入れ、媒体情報をご記入の上、お申込書を e-mail または FAX にてお送りください。

申込確認に数日かかる場合がございます。あらかじめご了承ください。

<p>1 <input type="checkbox"/></p>  <p>展覧会チラシ</p>	<p>2 <input type="checkbox"/></p>  <p>作家近影</p>	<p>3 <input type="checkbox"/></p>  <p>《問題神父》 2009-2017年 個人蔵</p>	<p>4 <input type="checkbox"/></p>  <p>《白いマフラーの少女》 2009年 個人蔵</p>
<p>5 <input type="checkbox"/></p>  <p>《真夜中のマラソンマン》 2017年 個人蔵</p>	<p>6 <input type="checkbox"/></p>  <p>《コッド岬の観光客》 2017-2022年</p>	<p>7 <input type="checkbox"/></p>  <p>《北方の旅行者》 2018年</p>	<p>8 <input type="checkbox"/></p>  <p>《紅葉》 2009年</p>
<p>9 <input type="checkbox"/></p>  <p>《振り返る問題神父》 2022年</p>	<p>10 <input type="checkbox"/></p>  <p>《雲の上のパロマー氏(私はいつも前を向いている)》 2022年</p>	<p>11 <input type="checkbox"/></p>  <p>《問題神父の待ち伏せ》 2022年</p>	

● 貴媒体の情報をご記入ください。

- 媒体名 (番組・雑誌名等) _____
- 媒体種：新聞・雑誌・ミニコミ・TV・ラジオ・WEB・その他 (_____) _____
- 掲載・放送予定日： _____ 参考 URL _____
- 原稿確認予定日： _____
- ※WEB 掲載の場合、いずれかに○をつけてください。： コピーガード対応 可・不可 _____

● 申請者の情報をご記入ください。

- 貴社名： _____
- 所在地： 〒 _____
- ご担当者名： _____
- メールアドレス： _____
- 電話番号： _____

【 画像使用に際しての注意事項 】

- 「作家名」「作品名」「制作年」「展覧会名」「所蔵先」「クレジット」などを明記してください。
- ▼参考
「作家名」吉村宗浩
「作品名」《白いマフラーの少女》
「制作年」2009年
「所蔵先」個人蔵
- 作品画像の加工（着色、トリミング、文字載せなど）はできません。
- 基本情報、画像使用の確認のため、ゲラ・原稿の段階で「企画・広報担当」までお送りくださいますようお願いいたします。
- 掲載媒体を1~2部、もしくはURL、同録（DVD、CD）を「企画・広報担当」宛にお送りください。
- 画像使用は本展覧会の紹介用のみとさせていただきます

兵庫県立美術館 取材申込書

取材をご希望の方は下記にご記入のうえ、取材希望日の**3営業日前まで**にメールまたはFAXにてお申し込みください。

メール送付先： press@artm.pref.hyogo.jp

FAX送付先： 078-262-0903

お申込日 年 月 日

<< 取材内容 >>

希望日時	第1希望	年	月	日 (曜)	時	分	～	時	分
	第2希望	年	月	日 (曜)	時	分	～	時	分
	第3希望	年	月	日 (曜)	時	分	～	時	分
希望場所									
企画内容									
カメラ撮影	<input type="checkbox"/> あり	スチール	台	ムービー	台	三脚・脚立	台		
	<input type="checkbox"/> なし								
取材人数	人								
取材時の代表者名									
媒体種別	<input type="checkbox"/> テレビ	<input type="checkbox"/> ラジオ	<input type="checkbox"/> 新聞	<input type="checkbox"/> Web	<input type="checkbox"/> その他 ()				
媒体名									
掲載・放送予定日時	<input type="checkbox"/> 掲載	年	月	日 (曜)	時	分			
	<input type="checkbox"/> 放送	年	月	日 (曜)	時	分			

ご連絡先	担当者名	
	社名・部署名	
	住所	
	電話番号	
	FAX	
	E-Mail	

- * 企画内容によってはご要望に沿えない場合もございますので、あらかじめご了承ください。
- * 作品の著作権保護や出展作品のクレジット確認等のため、展示風景や作品の画像使用にあたっては、紙面掲載、番組放送前に 原稿を確認させていただいております。校正段階での原稿・映像等を事前に広報専用メールへご提出ください。
- * 掲載媒体を1～2部、もしくはURL、同録 (DVD、CD) をお送りください。

〈取材についてのお問い合わせ〉

兵庫県立美術館 企画・広報担当 (政岡・東原・成松)
〒651-0073兵庫県神戸市中央区脇浜海岸通1-1-1
TEL : 078-262-0905 FAX : 078-262-0903 Mail : press@artm.pref.hyogo.jp